



ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区広報誌
第13号

2017年 2月13日
組織拡充委員会

祝 研修所修了おめでとう！

12月22日（木）、あんさんぶる荻窪で開催された地区委員会に先立ち、ウッドバッジ研修所に参加された以下の方々に、下地地区コミッショナーより修了証が手渡されました。

研修所で学んだ技能や体験を通じて、皆さんのこれからの活躍が期待されます。

杉並2団	奥村茂夫	WB研修所BVS課程	東京	46期
杉並2団	鈴木恵美子	WB研修所CS課程	東京	138期
杉並6団	朝倉譲	WB研修所BS課程	東京	142期
杉並9団	伊藤圭	WB研修所BVS課程	神奈川	47期
杉並12団	高木嘉人	WB研修所BS課程	東京	142期



新進級課程の地区説明会開催 BS・VS部門の進級が一本化！

2月2日（木）、「BS部門、VS部門新進級課程地区説明会」が、阿佐谷地域区民センターで開催され、各団のボーイ隊、ベンチャー隊などの指導者や団関係者が集まりました。

説明会では、下地地区コミッショナーの開会挨拶のあと、ベンチャー部門担当の飯沼副コミッショナーと、ボーイ部門担当の小原副コミッショナーより、プロジェクターで資料を映写しながら移行の経緯、概要、移行時期などについて説明がありました。

新進級課程では、現行のボーイスカウト部門とベンチャースカウト部門の進級課程を一本化（シームレス化）して、初級・2級・1級・菊・隼・富士の6段階とし、全ての進級章を取得して到達点である富士スカウト章を目指す新たな進級課程が施行となり、進級章も変更になること、また新進級課程に円滑に移行するための手順、移行期間、準備する事項などについて話があり、各隊での具体的な運用方法について質疑応答がありました。

新進級課程の移行期間は平成29年9月1日より平成31年3月末日の期間で、各隊・団で上進時期を考慮して1年以内に移すことになっています。

新進級課程については、「スカウティング誌」の1月号に解説が掲載されているので、参照ください。



登録審査会、海外派遣スカウトの発表、新春リーダーの集い

2月11日（祝）、杉並2団のある築地本願寺和田堀廟所で「登録審査会」、「海外派遣スカウトの活動発表」、「新春リーダーの集い」が開催されました。

登録審査会は、梅の間で午後1時から開催され、各団の登録事務担当者などが集まり、29年度の継続登録に必要な書類、データの提出が行なわれ、地区の担当者が登録に必要な要件を満たしているか等をチェックしました。



海外派遣スカウトの活動発表は、本堂で午後4時から開催され、杉並11団ローバー隊の西村福太さん（アメリカ）、杉並5団ベンチャー隊の関戸陽輔さん（アメリカ）、中野8団の沼上志帆さん（バングラディッシュ）、中野11団ベンチャー隊の東條雅臣さん（韓国）から、海外派遣先での活動紹介や異なる文化の中で得た体験などの発表があり、会場には各団のボーイ隊、ベンチャー隊のスカウトが参加しました。

質疑応答では、言葉の違いによる意思の伝達や食事、生活習慣などの違いにどのように対応したかなどの質問などがあり、派遣スカウトからは、難しさはあってもいかに対応していくか考え、行動していくことで多くの成果があることから、海外派遣に積極的にチャレンジして欲しいとの話がありました。



新春リーダーの集いは午後6時から蓮華の間で開催され、来賓の杉並区保健福祉部の有坂部長、東京連盟の山内理事長、村山県連盟コミッショナーから祝辞が述べられ、各団からも多くの方が参加して懇親を深めました。

参加した各団からは自団の紹介が行われ、ビンゴ大会では番号発表のたびに、歓声やため息が広がりました。

なお、リーダーの集いのため、会場となった杉並2団ビーバー隊では、カステラや卵、チーズなどを使ったスカウト手作りの「ティラミス」を用意し、提供していただきました。



パインウッドダービー予選会

1月22日（日）、パインウッドダービーの地区予選会が高円寺中央会議室で開催され、中野5団、7団、8団、杉並11団、13団のカブ隊が参加しました。

「パインウッドダービー」は、公式キットの松の木を削り、磨いたり、彩色して自慢の手作りのレースカーを作り、大きさや重さの制限があるため、会場の入口では定規やはかりで「車検」を受けます。

競技はうさぎ、しか、くまのクラス別に、坂から一度に4台のレースカーを走らせて、誰の車が一番早くゴールに到着するかを競います。指導者や家族が参加できるアンリミテッドの部もあり、指導者や家族の方々も“愛車”のスピードを競いました。

昼食後は全員でゲームを楽しみ、各クラスの上位者と、優れたデザインの車にはデザイン賞が贈られました。

上位のスカウトは、3月5日（日）に開催される東京連盟のパインウッドダービー決勝大会に参加します。



特集

寒くても元気！ 年末・年始の各団・各隊の活動

山中野営場 お別れキャンプ

杉並3団 ボーイ隊隊長 左奈田 将実

杉並第3団では、1月6日から8日までの日程で、毎年恒例の冬季キャンプを山中野営場で開催しました。

今年の山中野営場は雪もなく、温かい中でのキャンプでしたが、それでも最低気温は-5℃程まで下がる厳しい環境のなかで、総勢11名のスカウトはとても快活に活動し、最終日には場長より、「とても元気なスカウト達ですね…」とお褒めの言葉をいただきました。

山中野営場は大正14年に野営場としての歴史が始まり、今まで数多くの指導者やスカウトが良い思い出を残してきましたが、残念ながら閉鎖することになり、各団が利用できるのは本年の3月までとなっているため、「山中野営場 お別れキャンプ」となりました。

このため、先輩たちに負けないぐらい良い思い出を残し、そして後輩スカウトに山中湖にとっても素晴らしい野営場があったことを語り継げるように、しっかり記憶に残しておこうとキャンプを行いました。

身を切るような寒さの中での朝礼、富士見台から見た純白の富士山の美しさ、“われはふくろう”の碑の横で歌った「懐かしの森へ」、六角堂で行った営火、寝る前に見上げた満天の星空、佐野広場での記念撮影など、たくさんの思い出、記憶ができました。この素晴らしい山中野営場で冬季キャンプが行えたことを感謝しており、最後の最後に雪に降られたのも、良い思い出になっております。



大宮八幡宮の花笠まつりに出店

杉並2団

12月10日（日）、杉並12団は大宮八幡宮で開催された花笠まつりに出店し、皆さんに綿あめ、ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、かたぬきなどを楽しんでいただきました。

綿あめ、ヨーヨーつりには子供たちでにぎわい、かたぬきはピンで小さな形に切り抜くもので、「なつかしいね…」とお孫さんに教えている方もおり、小枝で作った鉛筆型のホルダーなどの参加賞も用意されました。

杉並12団は毎年花笠まつりに出店しており、ボーイスカウト案内のパンフレットを配布してPRに努めていました。

参道には山形の農産物や特産品、食品など、多くの露店が並び、山形の芋煮や野菜の振る舞いには列もできて混みあい、参道入口から社殿前までの参道を花笠音頭にあわせた踊りの華やかなパレードが進みました。



ポケモンGO! さよならパーティ

中野11団 ビーバー隊副長 谷川ひかり

中野11団は、12月11日（日）、ビーバー隊からベンチャー隊までのスカウトとリーダー、保護者ら総勢60名ほどが集まり、地元の川島商店街を中心に「11団版ポケモンGO!」さよならパーティを楽しみました。

野生のポケモン? に扮したリーダーや保護者が町に出没するのを、スカウトたちが見つけてジャンケンバトルでゲットしていくというものです。商店街のお店にも協力してもらい、ポケストップやジム、ポケモンの巣も出現しました。

保護者のみなさんの仮装が、予想をはるかに上回るクオリティで、スカウトたちも大盛り上がり! となり、商店街のあちこちで歓声が上がっていました。

午後からは地域センターに戻り、おやつ時間。おやつはクジ引きで決まります。「ポテトチップって普通〜」、「ラーメンやったあ!」、「え〜ナス?」、「もやしておやつかよ?」、「雪見だいふくって、めっちゃアタリじゃねー?」など、一喜一憂するスカウトですが、なんとおやつにカレーをかけて食べるルールが発表され、さらにどよめきが…

「ナス、むしろアタリだよ〜!」「雪見だいふく、ダメじゃーん!」「ラーメンはアリだな!」などと騒ぎながら、70人分のカレーはあっという間に完食でした。

おやつの間には、各隊の活動報告、ポケモンGOの結果発表があり、ポケモンコンテストではダンスのアピールが功を奏したPPAPさんが優勝し、お楽しみいっぱいパーティは大成功でした。



2016年さよならパーティを開催

中野8団 ビーバー隊副長 沼上晶子

12月18日（日）、中野8団は谷戸小学校で毎年恒例の団行事「2016年さよならパーティ」を開催し、各隊のスカウト、指導者とゲストのお友達や保護者など多くの方が参加しました。

ゲストの中には、11月に中野四季の森公園で開催された、あすなる地区の「みんなであそぼう！ワクワクランド」に参加して、ボーイスカウトの活動に興味を持ち、友達と一緒に参加した親子もあり、ビーバー年代からベンチャー年代まで混成で、ボーイスカウト活動の基本である班を作って活動しました。

午前中は開会式のあと、広い体育館で6つのグループに分かれ、「オリンピック」をテーマにしたゲーム大会を行ないました。ベンチャー隊やボーイ隊のお兄さんをチームリーダーに、ボールを使ったゲームや、「6人7脚」ゲームなど、優勝を目指して元気に活動しました。

昼食は家庭科室で保護者が作った卵サンド、ツナサンド、焼きそばサンドなどが用意され、好きな具材のサンドイッチに手を伸ばしていました。

午前中の“動”に対し、午後は頭脳ゲームとも言える“静”の班活動でした。午前中に編成した班のまま、ビーバースカウトが見てきた図柄を口頭で説明し、それをチームで再現する「キムスと伝言ゲームの合わせ技」のようなゲームなど、小さな子の説明をいかに年長スカウトがうまく聞き取るか、各年代のコミュニケーションがカギとなりました。

おやつタイムには、さよならパーティ恒例の「ケーキデコレーションコンテスト」。引き続き同じ班で、生クリームとお菓子でロールケーキを飾ります。班長を中心にみんなで意見を出し合っってコンセプトを決め、各グループ同じ材料を使いながら、小さい子は小さい子なりの出来ることを分担し、さまざまなデザインのケーキができあがりました。出来上がったケーキは、保護者・団委員の厳正な審査が行われ、優秀作品が決まりました。

午前中のゲームとケーキコンテストの得点により優秀班が決まり、チョコレートの優勝メダルが授与されました。



菅平で団スキーキャンプ 杉並12団 ローバー隊(ボーイ隊副長) 芝田謙和

1月8日と9日、杉並12団の団スキーキャンプを行いました。前回から2年ぶりの開催ということもあり、スカウトはもちろんリーダーの皆さんも張り切って臨んだイベントとなりました。

例年は長野県の菅平高原で、3月にスキーキャンプを行ってきましたが、2年ぶりということもありますし、今年は1月ということもあり、時期が違う分、同じ場所でもいつもとは温度も、雪の量も“全く違う”、本当に新しい環境下での活動になった気がして、怪我や事故が無いように活動に取り組みました。

初日のバスの中では、朝早くの出発でボーっとしていたスカウトたちも、カブ隊リーダーによる「クイズ大会」や、我々ローバーによる「歌の練習」を通して、元気な歌声をバス中に響かせてくれました。

そして、現地に到着後のセレモニーでは、ホテル支配人の挨拶、スキーインストラクターのお話スカウト全員がしっかりと耳を傾け、ウィンタースポーツに向けての心構えを示してくれたと思います。

スキーのレベルや到達目標は、ビーバー、カブ、ボーイそれぞれで異なりますが、滑走が始まると、共通して言えることは、皆がなによりも「楽しみたい」ということで、一緒にいて、その思いはすぐ伝わってきます。とにかく、スカウト全員が雪と触れ合い、雪の中での遊びの楽しさや危険な面を肌で感じてくれたような気がしました。

滑走の後、スカウトは入浴で疲れを癒し、夕食もたくさん食べてくれました。そして夜はお楽しみの「室内大営火」を開催しました。今回の営火の内容は私が立案しましたが、スカウトに「いつもとは違う楽しみ」を与えるため、他のローバーやリーダーに協力してもらい、アクティブでユーモアに溢れる営火を演出することができました。

スカウトによるソング発表やスタンツ、リーダーによる個性豊かなキャラクター演出やゲームを通して、スカウトはもちろん、リーダーや引率で来てくださった保護者の方々にも楽しんでいただけたような気がします。

最終日の閉会セレモニーでのホテル支配人による挨拶の中に、「最近の子供たちは雪に触れる機会が減ってきている」というお話がありましたが、このスキーキャンプを通して、スカウトたちがたくさん雪に触れ、多くを学んだことは大変貴重なことなのだと、改めて感じました。

今回のスキーキャンプが、スカウト皆の思い出に残る楽しい活動になっていることを願っています。



美味しいキックオフ行事「餅つき大会」 中野7団カブ隊隊長 原 達郎

1月22日(日)、中野7団の年明け最初のキックオフ行事として、餅つき大会を北野神社の境内で開催しました。

餅つき大会はもち米をふかすところからつきあげるところまで、多くの方々の協力が必要で、30キロを超えるお餅をお父さん達や、リーダーとスカウト達が張り切ってつきました。

スカウト達が苦勞してついたお餅は、早速大きな鏡餅にして、境内をお借りした北野神社に奉納し、スカウト達は揃って神前に参拝して、本年のスカウト活動の安全と、健やかな成長を祈願しました。



当日は、ボーイ隊のスカウトは裏方に回って、火の番やもち米を順番にふかす作業を担当しました。

ビーバー隊のスカウトは「杵が重いからつけない…」と言っていましたが、ビーバー隊の木村隊長が手伝ってつき、カブ隊のスカウトは2人で協力して杵を持ち、お餅をついていました。

ボーイ隊のスカウトは1人でお餅をついていましたが、杵を振り下ろす動きにも勢いがあり、テンションも上がって、さすが「ボーイ隊の頼れるお兄さん！」の感じでした。

また、おかあさん達は、お餅を小さく丸めて、あんころ餅やきなこ餅、からみ餅などを手際よく作り、スカウト達は「美味しいね…」と言って格別の味を楽しみ、笑顔は最高でした。



お餅つきは準備も作業も手間がかかりますが、寒さの中で、湯気があがるもち米をかけ声をかけながら、力を合わせて杵でつき、お餅にするのは、とても楽しくにぎやかで、新しい年の最初の行事にふさわしい雰囲気の中で活動することができました。

最近では街中で餅つきを見かけることも少なくなったので、スカウト達にはよい経験となりました。

